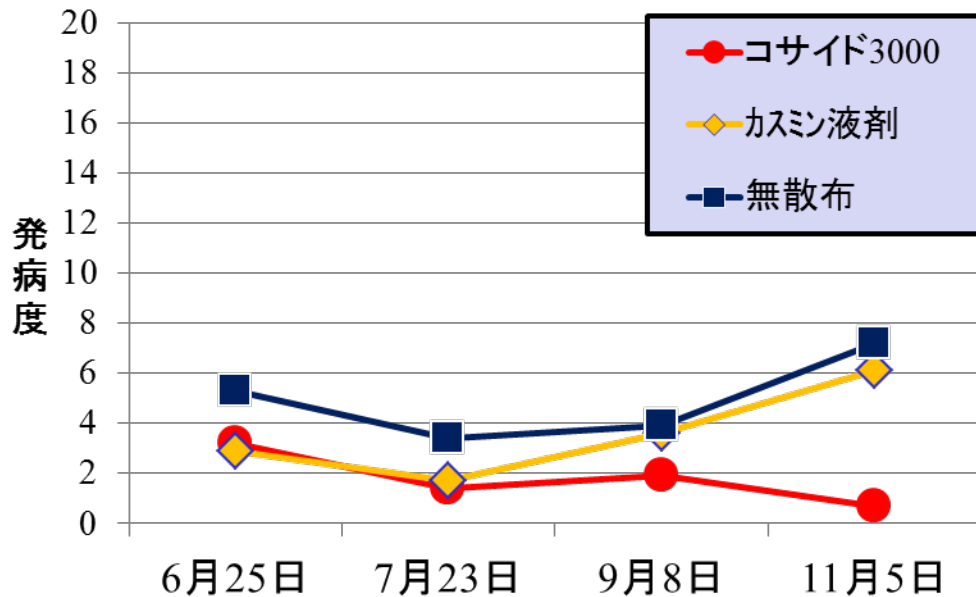


キウイフルーツかいよう病に対する開花期以降の銅剤防除

かいよう病の主な防除時期は秋期～梅雨時期までと長期に及ぶが、これまで開花期以降については本病に有効な薬剤が少なく防除対応に苦慮していた。しかし、銅剤「コサイド3000」が本年3月に新しく登録され開花期以降の使用が可能となったので、その効果を紹介する。

かいよう病(Psa1)の発生推移(ヘイワード)



防除月日(6/13.7/9.7/29.9/9.10/9)

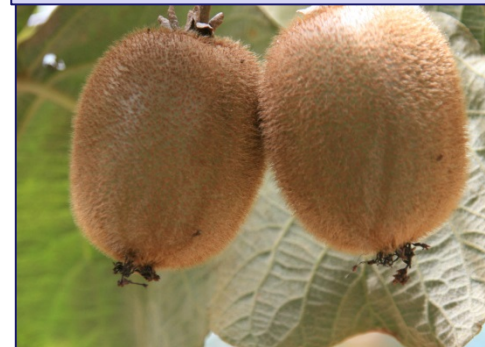
秋期に発生した病斑



葉裏の葉脈褐変



果実の状況(9月) 左:ヘイワード 右:Hort16A



コサイド3000(2,000倍)炭酸カルシウム剤加用区では発病増加はなく効果が認められた。なお、葉裏の葉脈褐変と果実(ヘイワード)では汚れ果があったが収穫時には問題なかった。